

聴く。遊ぶ。生きる。 PLAY-EAR!

補聴器をパートナーに、
人生をいきいきと
謳歌する人たちが増えています。
ワイデックスは、
そんな「プレイ・イヤー！」な生き方、
「プレイヤー（現役）」な人々を、
応援しています。

PLAY-EAR! 1

音楽を満喫する日々。
聴くことが、

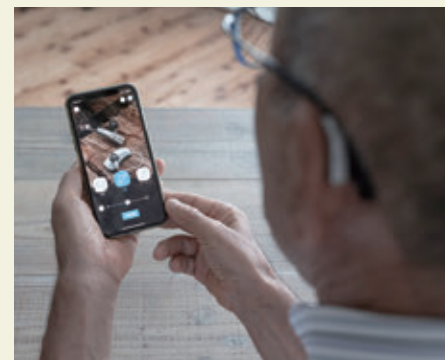
人生を豊かにしてくれる。

堺進さん
70代



NYまでコンサートに行くほど
音楽が好き。
美しい音には聴き惚れてしまう。

若い頃からゴルフと音楽が好きです。それは今でも変わりません。ポップス系の音楽をよく聴きますが、特に歌唱力のある女性ボーカリストが好きですね。あるアーティストのコンサートで、ニューヨークのカーネギーホールまで行ったこともあります。女性の声ならではの美しさが大好きなんです。高音の最後のビブラートや伸び、そんな音の豊かさや繊細さをずっと感じていたいというのも、補聴器をつけようと思った理由のひとつです。



今どきは、補聴器もスマートフォン
と連動。ワイヤレスイヤホンとして
音楽も電話もこれで聴ける。

コンサートでは、補聴器を「ミュージック」に設定します。普段は周りの環境に合わせて雑音を抑える「万能」、電車では騒音をしっかり抑える「快適」というふうに使っています。スマートフォンと連動しているので、スマートフォンをリモコン代わりにして

好みの音を設定できます。
音楽を数百曲スマートフォンに入れているのですが、それを聴くときは、補聴器がワイヤレスイヤホンとして使えます。電話の声だって、補聴器で直接聴けるんですよ。ちょっとカッコイイですよ。

環境さえ整えれば
人生はずっと楽しいまま。
補聴器は、今を楽しむための投資。

今も、週に1回はゴルフに行っています。ボールを打った時の音って、ゴルフの醍醐味の一つだと思うんです。うっかり補聴器をつけ忘れたときは、ゴルフが全然楽しくなかったですよ（笑）

歳をとると、捨てなければならないことが増えてくる。でも、楽しむことを捨てずにこれたという実感があります。人生をどう楽しくするか、そのための環境を整えるのは自分にしかできない。私にとって補聴器は、今を楽しむための投資です。

※補聴器の品質、効果効能、安全性等を保証するものではありません。
※装用者個人の感想です。





PLAY-EAR!2

何もあきらめず、
アクティブな自分のまま
生きていける。

藤田まゆみさん
フリー編集者
50代



旅先で、なにげない会話を楽しむ。 そんなときも、耳はとても大事。

旅行が趣味で、特に離島巡りが好きです。20代の頃から島に行き始めて、数えてみたら今までに200島以上訪れていました。旅は、いつもひとりと決めています。観光地じゃない島などにひとりで行くとき地元の人がいざと声を掛けてくれるんです。「うちの畑でとれたミカン、持って行きなさいよ」とか、「今日は棟上げ式があるからいらしゃい」と宴会に呼ばれたこともあります。そういうふれあいが、旅の一番の楽しみ。そのためにも、耳って大事なんです。

虫の声、せせらぎ、雷鳴、スキーの音。 すべて私にとって大切な音。

沖縄の西表島には毎年行くのですが、このごろ蝉が鳴いていないなあと思っていた時期があったんです。その時はわからなかったんですが、自分の聴力が低下していたんですね。耳って聞こえないと、音そのものがないと思ってしまいます。

虫の声だけではなくありません。山を歩くときの沢のせせらぎの音、遠くで鳴っている雷鳴、



ゲレンデを滑るときに後ろから近づいてくるスキーの音。私の生活に欠かすことのできない音なんです。耳が聞こえなくて落ち込んだ時期もありましたが、仕事はもちろん、旅などの趣味も、以前と何も変わらず続けていけることがうれしいですね。

※補聴器の品質、効果効能、安全性等を保証するものではありません。
※着用者個人の感想です。



PLAY-EAR!3

音を感じながら走ることで、
楽しさも高揚感も
味わえる。

小貝 鋼さん
グラフィックデザイナー
70代



鳥のさえずりに、 季節を感じるランニング。 今も毎年、レースに参加している。

ランニングを始めたのは、20代の頃です。会社の先輩に誘われて皇居1周マラソン大会に参加したのがきっかけですね。あの頃はフルマラソンに出ていて、30代半ば頃には3時間を切ったこともあるんですよ。いろいろな大会に出たなあ。今は、ハーフマラソンですね。レースに出るのは年4回くらいです。普段は家の近所を走っているんですが、鳥の声なんか聞こえて気持ちいいですよ。メジロの声が聞こえてくると、春も近いなあなんて季節を感じますね。

ランニングの足音や レース前のざわめき。 ワクワクするのも、音があってこそ

ランニングをしている時って、意外と自分の足音が聞こえるものなんです。自分では音も立てずに軽やかに走っているもんだと思いついていたんですが、実際は、聞こえにくくなっていましたね。補聴器をつけるようになって、ああ、ランニングってこんなに足音が

していたんだと。発見でしたね。それと、レース前のざわめきも。そういえばこんなだったと思いついて出した。昔、河口湖マラソンに出たときに、あのざわめきでいよいよスタートが近づいてきたって高揚感があったね。本当にワクワクしたのを思い出したんです。ランニングがますます楽しくなってきました。これからもずっと楽しんでいきますよ。



※補聴器の品質、効果効能、安全性等を保証するものではありません。
※着用者個人の感想です。

